

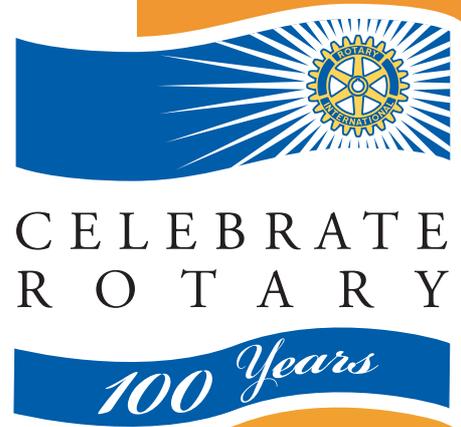
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

地区大会ご案内	2
ガバナーs LETTER	3
ガバナー日記	4
8月は会員増強および拡大月間です ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い	6
地区委員会委員長および活動計画	7
ロータリー文庫通信	20
地区委員会活動報告	21
ガバナー事務所からのお知らせ	23
ハイライトよねやま53	24
こんにちは! 第9グループです	26
函館ロータリークラブ創立70周年記念式典・祝賀会開催のご案内 2005年 RI会長主催祝賀会議へのご案内	27
受入留学生「ホスト・ファミリー」サポーターRC募集 掲示板	28
「虹と雪のバラード」の詩碑が建ちます ポリオ撲滅キャンペーン・ポロシャツのご案内 寄付の振込口座について	29
8・9月地区カレンダー	30
ロータリーウェブサイトのご案内	31

2004-2005 Governor
ENDO HIDEO

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.2
2004.8



ロータリーを祝おう



奉仕の第二世紀へ

8月より登録開始!

2004~2005年度
国際ロータリー第2510地区

地区大会

10月16日(土)17日(日)

場所 / 祝いの宿 登別グランドホテル
日本工学院北海道専門学校
記念懇親会 / 第一滝本館

記念囲碁大会 / 10月11日(月)
日本棋院北海道本部囲碁会館
(アスティ45 7F)

記念ゴルフ大会 / 10月15日(金)
登別カントリー倶楽部

第1日目 10月16日(土)

会長幹事会

祝いの宿 登別グランドホテル
9:30 登録開始
10:30 点鐘・開会の挨拶
11:20 閉会

本会議1日目

祝いの宿 登別グランドホテル
11:30 登録開始
12:30 点鐘・開会の挨拶
12:50 大会運営委員会報告
13:10 大会決議案上程・採択
13:20 各委員会活動報告
14:45 記念フォーラム
16:30 点鐘・終了

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

祝いの宿 登別グランドホテル
18:00 ウェルカムドリンク
18:15 着席・開演
19:45 閉会

第2日目 10月17日(日)

本会議2日目

日本工学院北海道専門学校
8:30 登録開始
9:00 点鐘・開会
ガバナー挨拶
RI会長代理ご夫妻と来賓紹介
9:15 RI会長代理挨拶
9:50 参加者紹介
10:40 表彰
11:10 記念講演会
12:15 RI会長代理所感
12:30 点鐘・終了

記念懇親会

第一滝本館
13:30 開会
15:00 閉会

記念フォーラム 「私たちの異文化体験と国際親善」

基調報告 R財団学友

R財団学友によるフォーラム

元財団国際親善奨学生・元GSEチームメンバー

第3350地区(タイ・バンコク地区)
GSEチーム紹介と報告

パネラー・コーディネーターは都合により変更となる場合があります。

記念講演 「多くの人たちとの出会いのなかで」



松島トモ子氏

ホストクラブ 登別ロータリークラブ

Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

クラブでロータリーを祝おう

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



ロータリー例会を楽しんでいますか？ 例会が楽しくないと出席者は減ってしまいます。我々はそれぞれ職業倫理を身につけ、しかも職業分類に基づいて選ばれて会員になっているわけですから、例会を楽しむ権利

を持っていますが、忙しいから出席出来ない、例会が面白くない、話し相手がいない、敷居が高い等々の不満を小耳にすることがあります。まだロータリーを良く理解されていない方、余り関心が持てていない方に多いのではないのでしょうか。

ロータリーの仕組みや規則は解っても、「親睦と奉仕」の理念を理解するには時間がかかることも事実であります。また年齢差や会社の大小による遠慮があると聞きますが、ロータリーにとっては大きな障害にならないと思います。むしろ、相手を理解しようとする心、気軽に声を掛けられる仲間意識、ロータリーに対する熱意が重要です。私自身も頭の中で解っているながら実行に移せない場面が多く、悔やまれてなりません。

中年以上のロータリアンは祖父母、両親、兄弟、姉妹の家庭環境で育ち、切磋琢磨する人生道場がありましたが、少子化時代に入り、今や10人中7人が一人っ子なのです。人生土壌の変化の中で育った若者がやがてロータリアンとして各クラブに入会してくるので、戸惑うことなく思いやりと寛容の心で受入れるこ

とが大切です。そこに友情が育まれるのだと思います。

ロータリーも100才になりますと、毎年クラブ役員が交代してもクラブ活動内容が前年を踏襲したのになると、いつの間にかマンネリ化して活性化を失ってしまいます。地域に信頼され、必要とされるロータリークラブであれば、それぞれの地域にあった奉仕活動の場は必ずあると思います。アイデアと汗をかく努力が必要だと思います。

日本は平和で豊かな国です。エステスRI会長の強調事項も余り切実に感じない会員が意外と多いのではないのでしょうか。国際社会の中で日本は頼られている国であり、逆に国際社会からないがしろにされると生き残れない国でもあります。その社会の中で紛争が続く、貧困で苦しんでいる人達が想像を超える程大勢います。病魔に襲われ死を迎える人達も大勢います。世界平和を願うロータリアンとしては放置できない問題です。個人として、1クラブとしてはそれ程多くない寄付であっても、120万人、31,000クラブとなると大きな力を発揮します。ロータリー財団の人道援助活動の力は大きいのです。教育的プログラムでも、もうロータリーの役目は終わったのではないかと聞かれることがあります。未開発国の教育の普及、ロータリーを理解する若者や世界平和に貢献する若者を育てるためにロータリーの援助が必要なのです。

親睦と奉仕こそがロータリークラブを活性化します。そして新しい仲間が増えることを期待して、ロータリーを祝おう。

ガバナー日記

ガバナーに就任して、公式の初仕事は7月5日東京プリンスホテルで開催されたガバナー会である。今年度の議長には仲田順和D.2750ガバナーが選出され、顧問には田中作次、南園義一両R I理事が委嘱された。両理事のご挨拶の中で、地区研修リーダーのための研修会（次年度地区研修リーダー）が9月12日と11月26日開催予定、また今回のR I規定審議会では、日本の委員の発言が大きな力になっていたと報告された。今年度の予算は2,997万円で会員の減少する分減ってきている。ガバナー会青少年交換委員会北川晶夫委員長と青少年育成委員会前川昭一委員長から活動報告があり、「ロータリーの友」委員会委員長に渡辺隆パストガバナーが委嘱された。更に「ロータリー文庫」運営委員長長島洋三委員長の挨拶、R J W成川守彦委員長から規約変更の説明があった。

次いで案件が3項目あり、「2005年スペシャルオリンピックス長野」でも1人1,000円の寄付が考えられており、各地区で任意募金をすることとなった。100周年記念広報については結論が出なかった。「モンゴル緑化協力」は、ゴビ砂漠に植林することによって黄砂及び砂漠化を防止する計画で、韓国では積極的に取り組んでいるが、もう少し資料を集め検討してゆくことになった。

まだまだ不況の続く中、会員の減少も歯止めのかからない当地区としては、いずれも大規模予算を伴う事業だけに頭の痛い案件ばかりであった。

7月7日、最初のガバナー公式訪問を行った。第6グループ関幸吉ガバナー補佐とご一緒に倶知安、岩内、蘭越、余市クラブの順に会長・幹事懇談会、そして4クラブ合同例会が行われた。各クラブ共大変まとまりがあり活気があるが、共通する悩みは会員数の減少と新会員加入の困難さであったが、懸命に努力しておられる様子がかみ取れた。



No. 2
Date 04. 8. 1

7月9日、伊奈昭夫地区代表幹事、第12グループ藤澤正昭ガバナー補佐とご一緒に苫小牧、白老、苫小牧北、苫小牧東の順番に会長・幹事・会長エレクトの皆さんと懇談。会員増強と女性会員、ロータリー財団、米山記念奨学会等R Iの方針とはいえ、お願いすることが多く、心苦しい思いであったが、ご理解いただけたことが嬉しい。伊奈幹事から地区大会へのお誘いをしてもらう。4クラブ合同例会終了後、ここでも全員で記念写真。一生の思い出になるであろう。

7月10日、札幌アーキシティーホテルで青少年交換派遣、受入学生歓送迎会が行われた。オーストラリア受入学生4名、アメリカ、カナダから短期受入学生3名の歓迎会、短期・長期派遣学生11名の激励会、前年度受入学生5名の送別会で、ホストファミリー、カウンセラー、教職員、地区委員、ホストクラブの皆さん大勢が参加され、若者の熱気、笑い、笑顔、そして涙。これでまた地域に、そして各国にロータリーの輪が広がり、ロータリアンが感謝される喜びとロータリアン以外の関係者の皆さんのご努力、ご協力に感謝し、この1週間の疲れが飛んで行ってしまった思いである。



8月は会員増強および拡大月間です

会員増強に協力を！

地区会員増強委員会

委員長 佐藤 秀雄 (千歳・PG)

今月は会員増強月間である。当地区も1996年～97年の約4,300人をピークに会員の減少が著しい。6月末に東京で開催された第1ゾーンの会員増強委員長会議においても各地区増強委員長からは会員の減少に歯止めがかからない旨の報告があった。多分、日本のロータリアンは今年度末には10万人の大台を割ることになるかも知れない。原因は経済不況という外的要因と、ロータリー内部に潜む内的要因に分けることが出来よう。外的要因については我々ロータリアンとして如何ともしがたく回復を待つのみである。しかし、内的要因については大いに改革の必要性が有るのではなからうかと思う。第1次的にはRI、地区の体制の問題、クラブにあっては例会の持ち方や年会費の軽減、地域社会へ奉仕の取り組み方等々が考えられよう。第2次要因としてクラブ会員に「ロータリーの心」を理解してもらうことに有ると私は思う。これは大変重要なことであろうと思うがRIは近年これを疎かにしていたように思えてならない。ここに来てようやく田中RI理事を筆頭に「ロータリー概要」、「4大奉仕」、「ロータリー財団」の3つを日本のロータリアンに解り易く書いたものを2003-04年度末にネットで流した。しかしネットで流しただけでは読んでくれるのはごくごく僅かなロータリアンでしかない。そこで1冊の本にして会員に有料で購読してもらうことになった。このことは大変重要だと思うのだが、もう少し考え方を進めて無料で全会員に配付し、これを

テキストにして研修リーダーが解説を行なう。クラブ会員のレベルが一定の水準に達したとき、その後は1年に数度新会員に対して研修を行なう。このような研修体制を敷かない限り会員のロータリー理解度の底上げは期待できない。「奉仕の喜びを知る」ということは、ロータリーを理解し、ロータリー運動の何たるかを知って初めて、奉仕の喜びを知ってもらえるものだと思う。入会間もない会員、入会してもロータリーの何たるかを知ろうとしない会員は地域社会の奉仕活動は義務だと思い込み、俺の年度はこれをやった、あれもやったと主張し胸を張る。これが奉仕の喜びなのだろうか、私は疑問に思う。横道にそれだがロータリーの研修を重ねることにより、よりロータリーの良さを理解することにより友人、知人を取り込んでくれるものと思う。確かに気の遠い話かもしれないが会員増強はこれしかないと思っている。

昨年度、この厳しい会員減少にもかかわらず増強に転じたクラブが地区内において数クラブ存在する。詳細に分析してみるとクラブ会長が先頭になって汗をかき、同じ人の所に何回も、何回も足を運び頭を下げて入会して貰った事実が窺い知ることができる。要はクラブリーダーが熱意を持って行動しているかにかかっている部分も多分にあることも事実だということを忘れてはいけない。

2006～2007年度

ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 遠藤 秀雄
地区ガバナー指名委員長 遠藤 正之

2006～2007年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、10月3日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～6項及び第8節の資格条件に適合していることを要します。

参考

- ・国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）
- ・国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定（1998～1999年度地区年次大会決議第9号）

地区委員会委員長および活動計画



ロータリーを祝おう

ロータリー100周年記念委員会
委員長 岩城秀晴
(札幌南P G)

委員 石田 誠(札幌手稲) 荒 紀男(札幌)
木村 正勝(砂川) 酒井 正人(函館五稜郭)
畑中 俊介(札幌南)

遂にロータリーが誕生100周年を迎えるに至りました。私たちロータリアンの喜びはひとしおの感であります。

さて、私は何をさしおいても、ロータリーの親睦を楽しみ、ロータリーの理想に献身するようになる場面が来たからです。この地区12のクラブには100周年に構えるべき豊かな歴史があり、最も新しいクラブでさえ、ロータリーを祝う理由があります。どうかクラブ会員に思いやりと気配りの精神を奨励してロータリーを祝おうではありませんか。そして会員の退会防止活動を支援するロータリー家族委員会を継続して、熱意にあふれた新会員を入会させて、前途にいろいろな困難事項を克服する新しいエネルギーを吹き込みましょう。

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていた。そのころ、青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかねて、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をして、仕事上の付き合いが親友関係にまでに発展するような仲間を増やしたいという趣旨で、ロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持廻りで順番に開くことからいわれております。

こうして、1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生したのです。以後は志を同じくするクラブがつぎつぎに各地に生まれ、今では世界166ヶ国の地域に広がり、クラブ数31,561、会員総数1,227,545人(2003年12月31日現在)に達しておりますがR Iでは150万人を目標にしております。そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリー(R I)と称します。このように、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりになったのです。職場における良

心、そして社員、顧客、専門職務に携わる同僚に対する良心、そして清廉の手本としての行動をしてそのロータリーを祝いましょう。

一方、ロータリーの優れた達成事項としては各クラブが識字率の向上、貧困および飢餓の緩和、若い人々への指導と彼らを取り巻く環境の整備、美化といった広範囲のプロジェクトを世界31,000以上の地域社会においての活動のごとく、草の根のレベルの奉仕活動です。2004年 - 05年には、あなたのクラブの100周年記念社会奉仕プロジェクト、100周年の祝賀に地域社会を参加させて、クラブの奉仕の歴史を地域社会に広報して、将来のロータリーのために、ロータリー100周年を祝いましょうではありませんか。

他方、ロータリーの国際性のおかげで、ロータリアンは国境を越え地球を周って奉仕のパートナーを形成し文化交流を実施することができるのです。04 - 05年に双子クラブプログラムに参加し、100周年記念を研究グループ交換や、ロータリー・ボランティアを支援し、青少年交換学生を派遣し、もしくは受入れて、ロータリーを祝いましょう。

シカゴで開かれる国際ロータリー年次大会に出席し、世界の国々から集まるロータリアンに加わって、ロータリーとその100周年を祝う計画を立てましょう。

以上、ロータリーの実施してきました事を大雑把に申し上げましたが、今までのロータリーの歴史を考える時に、ロータリアンはこれからの感ずるべき使命を使命として、限りなき理想に向かって、より一層の精進を果たすべきものと考えられます。

どうか、それぞれ会員の方においても、その想いを果たす道を迷わずに遂行しようではありませんか。以下計画を述べます。

・ R I の計画

(1) 全世界の会員数の150万人に増強 (2) ポリオ撲滅運動の展開 (3) 地域社会での奉仕プロジェクト (4) 会員一人当たり100ドルのロータリー財団への寄付 (5) 100周年記念国際大会への参加

・ 地区内の計画

(1) 100周年記念事業委員会の設置 (2) 05年2月23日のロータリー創立記念日として例会を開催し、その歴史と未来について研修 (3) バッツにおいて、ガバナー補佐、会長エレクトに100周年の研修 (4) 地区協議会において、会

長、幹事、四大奉仕委員への研修（5）05年の地区グループでは100周年を迎えたテーマとしたシンポジウムを開催する（6）地域社会に奉仕活動と広報活動（7）他国地区との姉妹締結の実施（8）ロータリー100周年記念国際大会への積極的参加（9）当地区内のロータリー文庫による資料整備



ロータリー発祥の地で ロータリーを祝おう

オン・ツー・シカゴ委員会
委員長 小林 博
(札幌北PG)

委員 佐藤 秀雄(千歳PG) 辻野 修(当別)
斎藤 修弥(室蘭) 城木 浩一(札幌北)

ロータリーの100周年を記念しての国際大会がロータリー発祥の地のシカゴにて行われる。予定は2005年(平成17年)6月19日(日)から6月22日(水)までの4日間である。

この記念すべきシカゴの国際大会に、2510地区ロータリアンの出来るだけ沢山の参加が望ましいところである。大会中には国際色豊かな衣装でミシガン湖沿いのパレードのほかマラソン、ウォーキングなど100年にふさわしい企画があるとのことである。

登録とホテルの予約は各クラブ単位で希望者取りまとめのうえ出来るだけ早目に行ってください。ホテルは申し込み順とのことで遅くなると希望のホテルが取れなくなるとか何かと不便になります。

なお、登録申込書式、ホテル予約書式は近く当委員会から各クラブ宛お送り致しますが、追加分はガバナー事務所にありますのでお申し出下さい。また、案内、宣伝のビデオ(英語、5.57分)もガバナー事務所にあります。

さ、みんなでシカゴに行きましょう!!



資料をご活用下さい

文献資料室委員会
委員長 板橋 俊
(札幌幌南)

委員 遠藤 一雄(札幌東) 滝本 繁(札幌手稲)

当委員会はロータリーの情報源であります、貴重な文献資料の整理保管収集が任務ですので、例年に倣い、務めて参りたいと思います。

文献資料は前年度迄に大分整理されて来ておりますが、情報化時代故にR I、国内のロータリークラブ等の情報がたえず増加して来ております。I.C委員会と連携をとり、新しい資料の収集を行い、貸出し文献を増やして地区内各クラブの多数の会員の皆様方にご利用いただけるよう、活動を行っていきたく思っております。



楽しいクラブ例会と プログラムの実践を!

クラブ奉仕委員会
委員長 羽部 大仁
(札幌幌南)

委員 矢橋 温郎(札幌西) 戸部アナマリア(札幌はまなす)
山本 雅章(札幌手稲) 近藤 良一(札幌モニング)

遠藤ガバナー年度の地区クラブ奉仕委員会を仰せつかりました。札幌幌南ロータリークラブの羽部で御座います。佐藤直前ガバナー年度から地区クラブ奉仕委員会のお手伝いをさせて頂いております。2年目になります。前年度初めて取り組んだ事業は、地区のホームページにクラブ奉仕委員会を紹介させて頂きました。早い時期に委員会を開催して各委員のご意見を聞きながら、ホームページの更新をしたいと考えています。(各クラブで興味深いプログラムや特筆すべき会員増強、楽しい親睦例会などを委員会へお知らせ下さい)

又我が委員会最大の任務は、地区協議会でクラブ奉仕部門を担当することです。今年度の協議会は4月17日で室蘭市で開催され、第3分科会を担当し、各クラブ次期クラブ奉仕委員長が参加され、熱心にクラブ奉仕の重要性について話し合いが出来

たと存じます。ロータリーを取り巻く環境はこの数年とても厳しいものがあります。会員増強どころか、クラブ会員の減少（退会による）に各クラブは深刻に悩んでいる状況にあります。この状況からの脱却は、クラブ奉仕の実践しか道がないように感じています。楽しいクラブ例会、興味のあるプログラム、暖かな人間関係（会員相互の理解）が必ずロータリーは真の輝きを取り戻すに違いないと考えています。

どうぞ地区ロータリアンの皆さんには、各クラブにおいて親睦を通じて思いやりのある奉仕活動をお続け戴きたいと思います。クラブ例会における卓話の要請が御座いましたら、地区ガバナー事務所或いは下記にご連絡下さい。

（ガバナー事務所TEL(0143)82-2510 羽部TEL(011)811-7465）
一年間宜敷くお願い致します。



理念を守り抜き、活動を

職業奉仕委員会
委員長 富岡 公治
（札幌西北）

委員 森居 清（岩見沢） 礪波 寿（札幌南）
蝦名 久志（苫小牧東）

1. 地区職業奉仕委員会は、今年度ロータリー創立百周年を迎えるにあたり、ロータリー創立者ポール・ハリス、「Service Above Self」の標語を作ったフランク・コリンズ、「He profits most who serves best」の標語を作ったシェルドン、そして四つのテストを作ったハーバード・J・テラー等のロータリーの創立指導者達の理念を確固として守り抜き、地区内にロータリー職業奉仕理念と活動の重要性を普及強調することを最重要課題と致しました。

2. そして、10月の職業奉仕月間には、ロータリー職業奉仕理念の普及と強調に努めることとします。

そして、特に地区内各クラブから地区職業奉仕委員を卓話者として派遣してほしいという要請があった場合、出来る限りその要請に応えたいと考えます。

3. 又、地区職業奉仕委員会の本年度の具体的活動として次の通りの要領にて第4回ロータリー職業奉仕市民講座を開催する予定です。

記

- 1 講師 室蘭東RC会長 芝垣 美男
- 2 演題 「誰にでも身近で大切な法律知識」
- 3 日時 平成16年11月頃（具体的日時を検討中です）
- 4 講師について

ユーモアと法律専門知識で全道に著名な芝垣美男弁護士の市民講座の開催が、多くの市民と道民に楽しく有益なロータリー市民講座になるものと期待しております。



地域のニーズに答えた 社会奉仕活動を

社会奉仕委員会
委員長 対木 正文
（札幌西）

委員 菅原剛太郎（滝川） 菊地 芳彦（苫小牧北）
坂本 修康（函館） 東原 秀行（札幌西）
三山 雄弘（小樽）

地域のニーズに答えた社会奉仕活動は、ロータリークラブが実施できる最もやりがいのある活動の一つです。地区委員会は各クラブが職業の専門知識や熱意をもって効果的な社会奉仕活動に取り組めるよう支援いたします。それがクラブと地域社会との関係を強くし、ロータリーのイメージアップに貢献すると考えます。

今年度は、2003-2004年度に各クラブで実施された「社会奉仕活動一覧」を写真入りで作成します。この冊子は各クラブがより地域に密着したプロジェクト選択に役立つと共に、ロータリー活動の一部を広く社会に知ってもらい、会員増強の一助にもなります。

また、8月末日迄に社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同の、クラブ社会奉仕委員長さんを対象とした「社会奉仕に関する意見交換会」を地区内4カ所で開催します。この意見交換会を通し、他のクラブの奉仕活動を知り地域社会が真に求めている奉仕活動をより幅広く模索し、活動のマンネリ化を防ぐと共にクラブが抱える諸問題について広く意見を交換します。

さらに、社会の成熟化、社会の不安定化と共に増加、潜在化している、「児童虐待」の問題を各クラブと共に考えたいと思えます。この問題は1999年国際ロータリー理事会が決定した、クラブおよび地区に考慮を促す奉仕の機会に関する項目9つの中で最初に出ています。この問題にロータリーがどのようにかか

わり、どのような奉仕活動が地域社会と一体となることができるかを考えたいと思います。

新設まもない小委員会、「家庭奉仕委員会」と「子ども奉仕委員会」の設立主旨をお互いに共有し活動したいものです。今年度も各クラブが地域のニーズに合った実りある社会奉仕活動をしていただくために、クラブと同じ目線で地区委員会も努力して参りますのでよろしくお願いいたします。



家族への奉仕と一言！

家庭奉仕委員会
委員長 和田 壬三
(札幌南)

委員 高下 泰三(札幌西) 大場 公孝(上 磯)
松本 純枝(深 川) 水野 正純(新札幌)
大田すみ子(札幌北)

わが国における家庭の問題は、諸外国に比して深刻です。(財)日本青少年研究所が全世界の中高生に、自分の両親の元に生まれて非常に満足していますかと質問したところ、たくさんの国は、80%以上が満足していると答え、50%以下の国は無いのに日本だけは25%です。同じ傾向は、この5年間に実施した他の質問からも認められるのです。また、東洋大学の中里教授が、日本とトルコ、アメリカにおいて実施した中高生対象の調査でも同様な結果が認められます。

ここまで、子供を追い込んでいる家庭の問題は、放置できない深刻な状態にあります。

今生じている児童虐待、低年齢児の凶悪な非行、いじめ、不登校、引きこもり、育児放棄、離婚率の急激な上昇、婚姻しない若者の急増、など家庭を巡る様々な社会現象は、わが国における家庭の状況が無視し得ない深刻な状態にあることを物語っていると共にそれは、他人事ではなく私共の身の回りでも程度の差はあっても同様な事態になっていることに思いを馳せていただくよう訴えて、以下の活動を各クラブに呼びかけます。

1. ワークショップをグループ単位や複数のクラブの共同で是非実施していただく。
2. クラブフォーラムや卓話、インフォーマルミーティングのテーマとして頂く。

これらの会のテーマとしては、例えば、私の今朝した妻への一言、又は家族への奉仕。日頃心がけている家庭奉仕、又は私

のしている家庭奉仕。家庭は密室でよいのか。家庭教育はどうあるべきか。老老看護の時代の家庭のあり方。家庭のコミュニケーションのあり方。若者はなぜ結婚しないのか。引きこもり不登校は、どうして起こるのか。などなどテーマは問いません。



協力会員名簿の 有効活用を！

子ども奉仕委員会
委員長 米 山 道 男
(札幌北)

委員 佐々木弘有(深 川) 石黒 安雅(滝 川)
松下 文芳(江 別 西) 植田 英隆(札 幌)
石黒 直文(札幌西) 近藤 浩(札幌南)
三澤 龍子(札幌清田) 工藤左千夫(小樽南)
酒井 宏(千 歳) 山田 明(静 内)
平野 和典(室 蘭) 石田 勉(函 館)
牧野 康宏(函館五稜郭) 和歌 宏侑(白 老)

1. 活動方針

「会員が小中学校に向いて授業をする」、「小中学生が会員の職場で職業体験をする」、この2つの活動を円滑に進めるために、前年度に引き続き努力します。この活動は、会員が職業を通じて子どもの教育に関わる活動であり、ロータリアンに相応しい極めて有意義な奉仕活動であると考えています。

2. 活動計画

- a. 会員への広報 今年度同様、地区社会奉仕委員会および家庭奉仕委員会と合同で、各クラブの会長・幹事・社会奉仕委員会委員長・会員有志の皆さんとの意見交換会を開催します。7月17日(土)苫小牧、31日(土)函館、8月7日(土)滝川、21日(土)札幌の予定です。このような機会や地区の集会、クラブの例会卓話、ガバナー月信などを通じて、会員に対して、本委員会の活動への御理解と御協力を要請します。
- b. 協力会員名簿の作成 現在作成中の「協力会員名簿」(第1冊)を、近々発行します(登録会員:授業協力144名、職業体験協力92名、合計延べ236名)。第1冊発行後も、将来の第2冊発行に備え、引き続き会員に対して協力会員の登録を要請し続けます。
- c. 教育委員会と小中学校への広報 各クラブと一緒に、各地の教育委員会と小中学校に対して、本委員会の活動への

御理解と御協力を要請します。

d. 会員の授業と小中学生の職業体験の実施 小中学校からの要請に基づき、各登録会員に授業や職場提供をしていただきます。

3. コメント

本委員会の仕事には、大きい山が二つある、と思います。一つは、「会員の御理解と御協力を得て、充実した協力会員名簿を作成すること」、もう一つは、「各地の教育委員会と小中学校とに理解していただいて、作成した名簿を有効に活用していただくこと」です。

昨年度は、新設委員会として、「協力会員名簿」作りに専念しました。今年度は、それを小中学校で有効に活用していただくように、会員各位および各グループから1名ずつ（第4・第5グループは2名ずつ）選出されている委員の皆さんと御一緒に努力したいと思います。御協力をお願い申し上げます。



新企画を創出できるよう支援する

国際奉仕委員会

委員長 橋本信夫
(札幌西)

委員 金井重博(札幌南) 斎藤修弥(室蘭)
雲津忠宣(伊達) 中島勉(札幌南)
中村真規(札幌西) 中垣陽一(滝川)
川内淳司(函館五稜郭) *友情交換担当委員

本委員会にはこれまで、世界社会奉仕(WCS)親睦活動と友情交換の3つの委員会が置かれていた。今年度は、友情交換委員会を親委員会に移して活動を強化するとともに親委員数を倍増し、長期展望のもとに各国の親善交流プログラムの要請に応えられるよう相手地区の調査と受け入れ環境の整備に努める。

さらに本委員会では、RI本部、地区の財団や各委員会の国際関連事業に対して各クラブの理解が深められるよう情報交換ネットワークを整備し、国際交流プログラムが円滑に実施できるよう調整する。またWCSと親睦活動の事業内容を見直し、新企画を創出できるよう支援する。

1 友情交換活動：国境を越えたロータリアン同士の友情を確立するために、地区や各クラブの国際交流実績を活かしつつ、より広い視点から各国のロータリーを結び友好親善プログラムの維持と新企画創出のための調査を行う。

2 WCS：主にアジア諸国を対象にし、各国の人的支援要請についての情報収集とプログラム内容の検討に努める。また各クラブがWCSプログラムに積極的に参加できるようPR活動を強化する。

3 親睦活動：レクリエーション活動を主催するロータリアンの親睦グループがそれぞれの趣味活動を通じて国際交流と奉仕活動に貢献できるように支援する。また各同好会が国内活動や国際大会などに参加するよう促すとともに地区の各種国際親善プログラムに趣味グループが積極的に取り組めるようガイドする。



Lets begin

世界社会奉仕委員会

委員長 斎藤修弥
(室蘭)

委員 伊藤知佳子(札幌北) 若原秀明(札幌東)
田口廣(千歳ソラル) 川岸洋一(伊達)

1967年に発足した世界社会奉仕活動(WCS)は2つの国のロータリアンが力を合わせ、援助を必要としている人々に手を差し伸べるものです。WCSにはさまざまな活動がありますが、その基準は次の3つに決められています。1. プロジェクトが人道的性質のものであること。2. 2カ国以上のロータリアンが参加していること。3. 参加国の1つがプロジェクト実施国であること。私たちはこの基本に従ってWCSプロジェクトを通じて国際理解を推進し、国際親善に貢献するため、具体的に次のような活動を展開します。1. 地区内ロータリークラブに対し、世界社会奉仕プロジェクト(WCS)をさらに理解し、積極的に参加してもらうようセミナーをはじめ、各種啓蒙活動を実施します。2. WCSプロジェクトを通して援助を必要とするクラブと、物質的、技術的、専門的援助を提供したいクラブとを結びつけます。3. WCS事業活性化のためロータリー財団委員会との連携を深めます。4. WCS事業促進のため、書き損じ葉書や未使用テレカ回収キャンペーンを継続します。今こそ皆さん方のクラブが、援助を必要としている人に手を差し伸べ、他国のクラブと連携して遠く離れた土地の風習や文化に接し、「希望の静かなる革命」を実現するため世界社会奉仕プロジェクトを実施するときです。

「Lets Begin」



クラブ親睦活動委員会とは 違います！

親睦活動委員会
委員長 雲 津 忠 宣
(伊 達)

委員 米谷 龍三(札幌東) 河原 文博(伊 達)
手塚 貴志(白 老) 長太 義雄(札幌北)

1993年10月RI理事会は、世界親睦活動(World Fellowship Activities)と国際職業連絡グループを統合し、「趣味・職業別親睦活動」(Rotary Recreational and Vocational Fellowships)という、新しい国際奉仕の一部門に名称変更しました。

この親睦活動は趣味やレクリエーションに共通の関心を持つロータリアンが世界的な親睦グループを作って交友を図る事や、同じ職業に就いている共通の専門職ロータリアンが国際奉仕に貢献することです。

この委員会はクラブ単位の親睦活動委員会が、会員相互の親睦の為やクラブ活性化の為に盛んに行うのとは少し違い、同じ趣味や職業人相互の理解を深め、世界的な親睦グループへの参加を奨励することにあります。

現在この親睦グループは世界中に沢山あります。ヨット、無線、PC、ゴルフ、囲碁、登山などの趣味の分野から、同じ職業人が集まり、例えば医療従事者のグループ、弁護士のグループは紛争解決親睦グループを作り、アイルランドと米国の若者を討論させます。

今世界ではこの親睦グループは80を越えています。先日の大阪国際大会にも多くのブースが出展し、更に仲間を増やしていました。

100年前PHは「親睦活動は素晴らしいものです。人生の道を照らし、いい気分をひろめるもので、高い値段をつけるに値するものです」とロータリー活動の恩恵について賞賛しました。正しく、共通の趣味を分かち合うロータリアンが親睦活動の中に、楽しみ、友好、知識の拡大、世界理解、国際奉仕を見出してきたのです。

2510地区においては、まだまだ認知されていない委員会です。しかし、共通の趣味のグループは着々とその仲間を増やしております。

この活動の認定基準は少なくとも3ヶ国を代表し、同ガバナーの承認が必要です。

世界社会奉仕のため、この委員会を有機的に運用できることを

主眼としております。

2510地区のロータリアンの皆様の深いご理解を賜りたいと思います、本年度は4名の委員 米谷隆三(札幌東)、長太義雄(札幌北)、手塚貴志(白老)、河原文博(伊達)と共に活動を開始しますので宜しくお願いします。



「財団活動に協力すること
-これが本当のCelebrate Rotary 100years-」
毎年あなたも100ドルを

ロータリー財団委員会
委員長 遠 藤 正 之
(札幌幌南PG)

委員 大村 孝男(千 歳) 瀧川 哲夫(札幌手稲)
山名 善久(札幌幌南) 山崎 晴嘉(札幌西北)
伏木 忠了(札幌西) *増進担当委員

森本委員長のあとの重責をおひきうけ致すことになってしまいました。会員皆様の御協力と御指導をおねがい致します。

100周年という節目年度、全ロータリアンが「100周年を祝おう」と沸いている年度、しかし乍ら不況という社会状況、社会構造の変化、それに起因すると思われる会員の減少等極めて不確定因子の多い年度でもあります。ロータリー財団も時代に対応する財団プログラムを2003年7月から実施しております。地区ロータリー財団委員会としての活動

- 国際親善奨学金委員会、財団学友委員会、GSE委員会、補助金委員会等財団プログラムのより効果的な活動をはかるため、連絡を密にする。

- ポリオ・プラスに協力
地区財団委員会としてお願い

“Every Rotarian Every Year 100\$”

財団の多様なプログラムを支えている寄付は大別して次の3種です。

1. 年次寄付
2. 恒久基金寄付
3. 使途指定寄付

皆様をお願いしたいのは、先づ年次寄付です。これは財団プログラムの燃料とも云えるものです。この寄付は使い道を指定することなく、ロータリー財団に寄付するもので、寄付して年後に、地区の年次寄付の60%(2003~04寄付年度で、2006~07プログラム年度から50%)については、地区がその使い道を決定することが出来る寄付なのです。

以上のような寄付なので、巷間耳にする“寄付をとられる”という考えを是非改めて、財団に寄付することによって、財団という組織を通して、自分がロータリーの奉仕活動、又3年後には地区の奉仕活動に参加しているという考えをもって欲しいと思います。ポール・ハリス準フェローがなくなり「財団の友」が誕生しました。これは100\$を寄付した方に与えられます。又クラブ会員が財団の友になると、そのクラブには特別な認証バナーが贈られます。

どうか会員一同が、100\$を寄付し72クラブ全クラブで100\$突破をすること、これが2510地区で100周年を祝うことになるのではないかと思います。御協力をおねがいします。



学友組織の充実を 支援する

国際親善奨学金委員会
委員長 瀧川 哲夫
(札幌手稲)

委員 松下 文芳(江別西) 丹羽 祐而(札幌手稲)
高橋 麗秋(札幌北) 大坂 忠(札幌大通公園)
増田 幸久(上磯) 高木 宏壽(札幌幌南)
松宮 國彦(札幌東)

下記の事業のため、5～7回程度の委員会を開催する。

- 2005-06年度国際親善奨学生のオリエンテーション
2005年7月以降に派遣される奨学生(候補者)に対して、3～5回のオリエンテーションを実施する。
- 2006-07年度国際親善奨学生の募集ならびに選考
奨学生を公募し、応募者について書類選考および面接を行い、候補者を決定する。これらの候補者を米国財団奨学金委員会に9月末までに推薦する。また、世界平和奨学金奨学生の募集も同時に行い、応募者があれば1名を推薦する。
募集開始 2005年1月
各クラブでの受付締め切り 4月
各クラブからガバナー事務所へ提出締め切り 5月
書類選考・面接選考・合格者決定 6月
- 5010地区 ロシア からの3ヶ月文化研修奨学生の受け入れ
9月から3ヶ月間、5010地区(ロシア)からの国際親善奨学生(文化研修)2名を受け入れる。

4. その他

奨学生および学友(留学経験者)にロータリー・プログラムへの参加を要請し、奨学生の意識を高め、学友組織の充実を支援する。また、当地区での国際親善奨学金の今後のあり方について議論する。



アジアの地区との 交換プログラム

研究グループ交換委員会(GSE)
委員長 山名 善久
(札幌幌南)

委員 武藤 順(札幌西) 岡崎 芳明(小樽南)
金坂 和正(札幌真駒内) 井上 勝一(札幌北)
片見 怜子(小樽銭函) 戸部 謙一(札幌西)
田嶋 忠義(札幌) 小林 敏夫(函館)
堀内 晴人(小樽南) 土橋 信男(札幌幌南)

いよいよ遠藤ガバナー年度が始まりました。当GSE委員会は前プログラムからアジアの地区と交換プログラムを実施してきました。

今年度アジア(タイ)3350地区との交換プログラムを実施するため、遠藤ガバナーがアナハイムに於いて交換の調印をしました。これを受けて今年の10月4日から31日までの4週間(28日間)3350地区からGSEチームが我が地区を訪問します。

受入グループ・世話クラブは第1グループ留萌RC、第5グループ札幌幌南RC、第6グループ倶知安RC、第11グループ上磯RCに各々ご依頼をしました。快く引き受けていただきこの誌面を借りてお礼申し上げます。

タイのGSEチームを受け入れることにより、訪問するチームメンバーはもちろんのこと、我々2510地区の多くのロータリークラブ会員の方々が大きな感動・感激を得よう心から期待します。

アジアの地区と交換プログラムを実施するのは良いのですが、私達は注意をしなければいけないことがあります。それは、日本が過去に起こした問題です。私達はともすれば過去の歴史を忘れがちになります。しかし、アジアの国々の人々は、今でも過去の歴史が心の中で生きています。私達のためにも、日本のためにも、その問題を払拭しなければなりません。GSEプログラムは地道な活動ですが、まちがいなく親善と相互理解を促進させる大きな力を持っています。その力を現実のものにする

ためには、多くの皆様のご理解とご協力が必要です。皆様から強力な力をいただき、GSEプログラムを一層有益なものにしたいと思います。

今年1年よろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



学友会の現況を把握する

財団学友委員会
委員長 山崎晴嘉
(札幌西北)

委員 岡 宏幸(札幌大通公園) 高橋 保史(室蘭北)
桃井 康夫(札幌清田) 鍋谷 操子(函館東)
中島 勉(札幌幌南)

1. 活動方針

- 1) 財団学友会の活動に対する助言と支援。
- 2) 財団学友のロータリー活動への参加促進とクラブの財団学友への理解推進。
- 3) 財団学友会の広報。
- 4) 他地区の財団学友会との連携。

2. 委員会活動計画

- 1) 委員会の開催
年間4回の委員会を開催し、活動計画の具体的な検討を行う。
- 2) 財団学友のクラブ例会での卓話機会の増進。
クラブの要望に応じて学友が卓話を行う機会を増進し、ロータリー財団の事業への理解を深めるように交流を図りたい。特に11月の財団月間には積極的な卓話斡旋を行う。
- 3) 財団学友会総会への参加。
今年度は財団学友会総会を地区大会時に開催する計画としたい。財団関係ロータリアンの参加により学友会を支援する。(会場確保を考えなければならない。)
- 4) 財団学友会賛助会員の賛助金拠出を推進。
改訂版地区R財団学友名簿を各クラブへ送付しましたが、財団学友の存在意義を深め、学友を活用すると共に賛助会員としてのご支援を御願います。学友会の活動資金として、クラブの賛助金は大きなウエイトを占めています。
- 5) 学友会活動状況を報告している学友ニュースレター発行の支援。

学友会設立以来、毎年発行している学友ニュースレターは学友が学友会に興味と理解を深めていくと共に、ロータリアンのロータリー財団事業への理解を深めることに役立っています。

6) 財団学友の地区大会への参加推進。

スポンサークラブから積極的な働きかけをお願いすることが重要です。加えて、学友会総会を地区大会時に開催することで、多くの学友が参加する機会を得ると共に国際ロータリーへの理解を深める機会を与えることが出来る。

7) 帰国学友報告会の開催。

ロータリアンから寄せられた貴重な浄財を活用して、外国に留学した財団親善奨学生とGSE団員が帰国後にどのような感想を得て、今後どのような活動を考えているのかロータリアンへ報告する機会を計画する。

8) 将来の学友会発展のために、他地区の学友会の現況を把握する調査を開始する。



地域に根ざしたP・Rを

補助金委員会
委員長 伏木忠了
(札幌西)

委員 山口 登(登別) 服部 隆志(千歳)
浅野 元広(札幌西) 朝倉 正人(札幌東)

1. 活動方針

ロータリー財団への寄付は、3年後に60%は地区財団活動資金(D・D・F)に、40%は国際財団活動資金(W・F)に配分され、教育的プログラムと人道的プログラムに使われます。国際的潮流は人道的プログラムに使われる比率が高いのが現状ですが、当2510地区は教育的プログラムに偏っており、地区補助金の利用は03~04年度が初めてです。

各クラブが、地域に根ざした社会奉仕に積極的に利用される様、P・Rを致します。

地区社会奉仕委員会、地区国際奉仕委員会、地区世界社会奉仕委員会との連携をすることにより効果が上がります。

2. 活動計画

地区補助金(D・D・F)

地域に恩恵を与え、また経済的に恵まれない人々の生活を向上させるために提供されます。

R I 2510地区の裁量で使える補助金は、12,000ドル
2004～05年度は、12,000ドル（遠藤ガバナー年度）

但し2003～04年度（佐藤ガバナー年度）で、約
10,000ドルが繰越分として、既に審査を終えたプロジェ
クト事業は次年度に継続事業として引継ぎいたしました。
個人向け補助金（W・F）

ロータリー国において最長60日間の期間、有資格の国際
的な人道奉仕活動のための旅費を補助するために個人向け
補助金を提供しています。資金は、将来の人道的プロジェ
クト或いは地域社会に恩恵を与える直接的な奉仕活動を計
画するために提供されます。

マッチング・グラント（W・F）

海外で人道的プロジェクトを実施するために、プロジェ
クト実施国とプロジェクト支援国の2つのロータリー・ク
ラブ或いは2つの地区が協力して行うプロジェクトに提供
されます。

ロータリー財団個人向け補助金に関する説明

<http://www.rotary.org/languages/japanese/downloads/>



ロータリーの熱意を届けよう。 新世代のために！

新世代委員会

委員長 細川好弘
（静内）

委員 堀田昌資（札幌東） 柳孝一（札幌南）
野澤幸平（岩内） 宮崎善昭（札幌西）
西村恒夫（札幌東）

「未来は遠くであり、出会うのを待っているというものでは
ありません。未来は今ここでつくられるのを待っているのです。
今、ロータリアンは奉仕の理想を来たるべき世代につなぐこと
によって、よき先達として行動することが出来るのです」

ロータリーの新世代元年とも言うべき1996 - 97年度ジア
R I 会長の新世代にかける言葉です。

私達の委員会は前途洋々たる0歳から30歳代の新世代に未来
を託すロータリーの建設的なシグナルを届ける奉仕として、地
区青少年交換委員会、インターアクト委員会、ロータリーア
クト委員会、ライラ委員会が取り組んでおります。

更に家庭奉仕、子ども奉仕、財団学友、米山学友等の委員会
とも手を取りあってR I 100周年に相応しい「ロータリーの熱

意をロータリー家族でもある新世代に届けられるよう」ご理
解とご助言をお願いいたします。

新世代が世界に通用する指導力を培う機会に恵まれますよう、
地区内の72クラブロータリアンと、ロータリーの過去・現在・
未来を称える楽しいプログラムを新世代と共に創りませんか。



学ぶ機会を与えて

インターアクト委員会

委員長 堀田昌資
（札幌東）

委員 秋山秀雄（札幌西北） 仲屋成裕（岩見沢）
古野重幸（札幌） 佐藤嘉高（札幌モニング）
市毛満（静内） 松見修二（函館北）

）活動方針

ロータリーと新世代の交流は奉仕プロジェクトを共有しな
がら世界平和を目指すロータリーに尊い学ぶ機会を与えてく
れます。地区内10スポンサークラブ、インターアクト委員会
と連携を密にして新世代活動に積極的に取り組む1年とします。

）活動計画

1．海外研修 - 国際理解を深めるために（隣国の歴史・文化・
言語を学ぶ）

期 間：2004年8月2日（月）～6日（金）

韓国（木浦）共生園（日本統治時代に多くの孤
児を救った日本人・田中千鶴子の生涯を描いた
映画「愛の目次録」の舞台となった孤児院）の
施設訪問と同世代交流。ソウル市内見学。

事前研修を開催（衣料品収集、交流参加行事な
ど）

研修報告書を編集・発行

2．インターアクト年次大会 - 独創的なアイデアを活用して

期 日：2005年6月予定

会 場：静内町

・ホスト：静内高校・静内ロータリークラブ

静内インターアクトクラブ10周年記念

3．世界インターアクト週間祝賀行事・祝賀表彰の奨励

新世代のボランティアを学ぼう

期 間：2004年11月5日を含む週

4．地区委員会開催 - 顧問教師と共に連携を。

顧問会議 随時開催。

2004～2005年度第2510地区インターアクトクラブ地区代表
静内高校インターアクトクラブ会長 村田 広恵



100年の記念事業にローター
アクトクラブを提唱しませんか。

ローターアクト委員会
委員長 柳 孝一
(札幌幌南)

委員 今井 義憲(函館東) 宇戸 啓隆(赤平)
五十嵐桂一(千歳) 鎌田 慎司(札幌北)
武井 優(岩内)

1. 活動方針

提唱ロータリークラブの会長・幹事、ローターアクト委員会、会員の皆さまと連帯を保ち、地区内ローターアクトクラブの活発な奉仕活動と、会員増強推進を目標に、提唱クラブだけではなく、広く地区内ロータリークラブにローターアクトクラブの活動を理解していただき、新しい事業を展開することを目標にいたします。そのためには、地区内ロータリアンを含む地域社会に広くローターアクトクラブを知って頂く、広報活動に努めます。

付きましては、未提唱のクラブにロータリー100周年の記念事業に、ローターアクトクラブを提唱することをお勧めします。詳しくは、地区委員会またはガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

2. 具体的な活動計画

【地区行事への参加と協力】

ローターアクト地区大会の実施の協力と参加
ローターアクト地区協議会の実施の協力と参加
アクトクラブ主催地区セミナーの実施の協力と参加
新世代委員会行事への参加
海外研修の実施の協力と参加
2510地区地区大会への参加とローターアクト会員の参加推進

【クラブ運営に関する要望と協力】

クラブの会員増強と体制強化、例会運営の協力
提唱クラブ ローターアクト委員会の指導力強化
ロータリークラブとローターアクトクラブの合同例会、合同事業の実施
ローターアクト週間(3月13日を含む週)のPR

(最初に誕生したローターアクトクラブがRIに正式に加盟認証された日でローターアクトクラブと提唱クラブが合同で事業を行うものです。)

【その他】

第3回北海道ローターアクト交流会(2500地区で開催)の全面協力とロータリアンの登録推進
全国研修会への登録、参加
休止中のクラブへの再開の働きかけ
未提唱クラブへ新クラブ設立の働きかけと共同提唱の提案
提唱クラブ委員長会議を年2回程度開催(例年1回)
地区主催のアクトキャンプへの協力と参加
ライラセミナーへの運営協力と参加推進
(ローターアクト地区代表への指導と協力)各クラブの活動計画書と活動報告書の作成要請



奉仕の精神を受け継ぐ

青少年交換委員会
委員長 野澤 幸平
(岩内)

委員 馬場 信吾(北広島) 荒木麻美子(余市)
上出 利光(札幌西) 菊池 恒(札幌南)
高橋 康則(苫小牧北) 高崎 英仁(札幌手稲)
田守 雅行(江別) 土谷 俊彦(札幌東)
北川 敏夫(札幌はまなす) 菊地 喜久(函館五稜郭)

本年度もロータリークラブ、ロータリアンのご協力を頂き派遣学生、受入学生が国際親善大使としてより実りある留学体験ができる様応援する所存です。

また、帰国され素晴らしい経験されたROTEXの皆さん方によるオリエンテーションで講師役として派遣候補学生、保護者への貴重な体験談スピーチを。

スポンサーRCさんだけの卓話でなく夏季、冬季休暇間でのスポンサーRCさんを通してROTEX、派遣候補学生また受入学生の卓話依頼。是非、卓話プログラムに加えて下さい。彼らからの“生の声”が当委員会活動を理解して頂く最大の手段でありまた、今後彼らが自分の意見を発表する場、時を通し今後より幅広くボランティア活動へのきっかけともなります。ロータリーの心、奉仕の精神を受け継ぐことと思います。

本年度、長期派遣募集8名前後、短期交換派遣3名前後を準

備致しております。

事業計画は例年実施しております歓迎会、秋・春キャンプ、短期&長期派遣学生へのオリエンテーション実施をまた、細川地区新世代委員長さんのご指導の元、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、ライラ委員会そして当委員会が共に協力しあいより活気ある委員会となりますよう頑張る所存です。

そしてホストファミリー、ホストRCへの「短期サポーター」支援プログラム、オリエンテーション使用各手引書の更新、作成。ROTEXによる事業プログラムの実施等を行う予定です。どうぞご指導の程、宜しく願い申し上げます。

皆様方のご意見、ご要望が次への手引書項目ともなります。どうぞご意見、気軽にお寄せ下さい。



新世代に様々な動機付けを

ライラ委員会

委員長 宮 崎 善 昭
(札幌西)

委員 クリスチャン・キム(札幌南) 高橋 都(札幌セントラル)
山田 昭恵(余市) 榎原二三夫(砂川)
阿部 光行(札幌手稲)

世界中のロータリーは、新世代の若い人々に対して人々に奉仕し、貢献できる人間として成長することを望んでいます。その為に多くの新世代プログラムを持っており、時間も使っています。

他者に奉仕し貢献をするために必要なことは、まず、個人の自立、自律、自信であると思います。ライラ・セミナーはこれを目指し、新世代に様々な動機付けをしようとするものです。自立を促す為には、自分の思想、価値観が必要ですし、社会的な視野で見ると個人のアイデンティティーも必要であります。

ライラセミナーは、それ自体が目的はありません。新世代の自立、自律、自信、アイデンティティー確立の為の手段であると考えています。ライラ・プログラムは、意図的にこの方向性に向けて実施されています。私たち大人のできうることは、方向性を示すことで、ある意味で「型」を示すことなのだと思います。歩み始めるのはあくまでも新世代自身であります。人間は自立し、自律し、自信を持ち、自分自身のアイデンティティーを明確化することができて初めて他者との関係の中で、差異を認識しそれを容認することが可能になり、自己を主張するこ

とができるのです。このバランス感覚と習慣を身につけることが大切なのです。

セミナーは一泊二日で行われます。時間的な制約の為に、内容を深めていくプロセスまでなかなか到達しませんが、参加者にとって大きな動機付けの機会であることには違いありません。

今年度、セミナーのテーマは、「人権について」で、様々な視点で考えようと思っています。18歳以上のシニアクラスを9/11~12、18歳以下のジュニアクラスを9/18~19の新世代月間に実施する予定です。

各クラブ会長、新世代委員宛ての参加案内を7月下旬にはいたしますので、多くの新世代をセミナーに派遣して下さいますようお願い申し上げます。

また、来年の2月に行われる第25回札幌国際スキーマラソンにも参加します。



理解のなかから奉仕を

米山記念奨学委員会

委員長 竹 原 巖
(札幌北)

委員 武田利兵衛(札幌南) 内野 司(砂川)
坂田 道昭(小樽) 圓谷 敏彦(苫小牧)
山下 信行(札幌南) 大石 春雄(札幌はまなす)

米山記念奨学委員会の本年度の活動方針は、「米山記念奨学制度の目的と意義を、多くの会員の方々に理解を深めていただくことにより、留学生にさらに多くの援助の手を差し伸べることが出来るよう努力し、奨学生との交流や相互理解に役立ち親善の輪を広げて行くようにする。」と掲げました。そして、具体的な活動計画として次の7項目を実施する予定です。

米山記念奨学制度について、会員の皆さんに理解を深めていただくため、奨学生並びに委員がクラブ例会やその他の機会に、出来るだけ多くの卓話する。

奨学生を地区行事・委員会活動・クラブ行事・地域行事に積極的に参加していただき、ロータリアンや地域の方々との相互理解を深めるため協力する。

世話クラブ・カウンセラー・指導教官との交流と親睦を図り、留学生が安心して快適な留学生活と研究学問に打ち込めるようサポートする。

奨学生がロータリーへの理解を深めるため、オリエンテ-

ションや親睦会を開催する。

米山学友会及び米山学友委員会と連携を図り、活動をより充実させ密度あるものとする。

普通寄付金一人当たりを全国平均並みの4200円に引き上げるよう努力する。

特別寄付金の増進に努力する。

会員各位の理解と協力により、出来るだけ多くの奨学生に援助の手を差し伸べることが出来るよう願っております。



新設以来3年度目を 迎える米山学友委員会

米山学友委員会

委員長 見延 庄三郎
(小樽南)

委員 笠原 昇一(札幌東) 斎田 義孝(小樽南)
高橋 敏雄(札幌手稲) 高坂 輝雄(札幌あけぼの)
千葉 悦子(小樽銭函)

1. 活動方針

これまでの2年間は、学友会活動の復活を図るため「学友会の活動計画とその推進」に当って委員会が先導的立場で復活支援活動を行ってきた。

3年目の今年は米山学友会の正会員である「学友自身が活動の中心であり主体である」との本来の基本に立ち、我々委員はその体制作りとその活動支援にウエイトを移していきたい。

去る6月5～6日登別で開催された米山学友会家族懇親会は、2人の地元米山学友が中心となり、これを第9グループ5クラブロータリアンの全面支援によって素晴らしい感動的な親睦交流の場となった。これぞ正に米山学友活動の理想像であったし、今後更に此の精神を発展させたい。

2. 活動計画

学友会名簿の作成

(1) 米山学友会(北海道)の名簿の補追

(2) 道内スポンサークラブ毎の全米山学友(道外転出者も含む)の名簿作成

転居先等、不明箇所はスポンサークラブの情報を得て補正したい

米山学友会役員と学友委員との合同会議開催

情報意見交換及び活動計画の策定推進

活動の主体は学友、ロータリーの学友委員はサポート役として支援に徹する

学友のロータリー活動への参加推進

ライラセミナー、地区大会、米山奨学委員会や財団学友委員会等、関連委員会との共催事業への参加推進

学友会定時総会(11月)・家族懇親会(6月頃)

機関誌「学友会だより(北海道)」の発行(6月頃)

研修会の開催(札幌コンサートホール KITARA)の視察研修等

一般ロータリアンに米山学友会への賛助会員として参画して頂き、「学友こそ米山記念奨学制度の目的達成者である」との認識のもと支援の輪を拡げたい。



外部広報に重点を置いて

広報委員会

委員長 小林 俊之
(札幌北)

委員 梅津 征夫(札幌モーニング) 菅原 文雄(千歳)
斎藤 正史(登別)

丸山前委員長が三年務められると伺っておりましたところ、一年でガバナー補佐に就任され、思いがけず委員長を務めることになり、経験の浅さで身の引き締る思いで一杯です。

日本の経済のバブルがはじけて三～四年以来十年以上にわたりロータリーの会員数は減少を続けております。

昨年の地区協で黒田組織コーディネーターさんは暗に会員減少が長く続くと予見してか、「地区は無くなっても単一クラブは残る」と辛辣なお話をされましたが、地区に於いても個々のクラブに於いても早期に組織をはじめ、ひいては会員増強につながるような思い切った種々の検討がなされる事を願っています。

広報は1923年の決議等による制約もありますが、RI・地区の方針に添って評される範囲内で積極的にロータリーの内外にロータリーの活動をPRします。

内部広報はガバナー月信やIC委員会のインターネット上での配信で十分伝えられると思うので外部広報に重点を置いて活動したい。

活動計画

1. 記念すべき百周年の地区の行事等を、関連する方々又関連委員会と協調し報道機関に取り上げて頂く事を最重点に

活動したい。

2. 個々のクラブに於かれては、地域に根ざした良き百周年記念事業を計画し実行しているクラブも多いと思う。そこで成功裡に進行又は完了した奉仕プロジェクトを一般の方々にも広く知って頂く為、各クラブ会長、幹事、広報委員長に積極的に地域の報道機関に働きかけて頂くような方策を考えたい。
 3. 各クラブの良きプロジェクトを単年度的なもの、継続的なものに分類してCDにまとめ各クラブに送り、今後の奉仕活動の参考にして頂く。これは昨年度も行っている。
 4. 報道機関の代表的地位の方にも会員になって頂くよう尚一層努力をしたい。
 5. 昨年度末丸山委員長により広報活動の基本的姿勢について、15分卓話用スライド原稿をCDに作成し各クラブ広報委員宛発送したので例会の卓話に組み入れて頂く。
 6. 地区で新しい試みとして力を入れている子供奉仕、家庭奉仕委員会の取り組みについても広報したい。
- 以上ですが皆様の好意と友情でよろしくお願い致します。



更なる情報の活用を目指し

情報・IC委員会
委員長 山田 信夫
(苫小牧北)

委員 廣瀬 保男(小樽南) 光銭 健三(上磯)
野田 富夫(滝川) 丸山 雄一(函館)
坂井 治(千歳セントラル) 五十嵐桂一(千歳)
秦 健一郎(小樽) 中村 喜恵(函館五稜郭)

前年度、佐藤直前ガバナー自らIC(インターネット・コミュニケーション)を積極的に推進されたことで、地区内クラブのEメールアドレスの取得や、クラブホームページの新設および2510メールマガジンの読者登録件数も飛躍的に増え、さながらIC元年といった様相でした。

今年度は情報委員会を統合し、更なる情報交換の充実に努めたいと思います。

ただ、情報はICが前提ではありませんので、ガバナー月信など従前の紙媒体なども活用しながら地区内クラブの会員の皆さんに情報の提供やコミュニケーションに努めてまいります。

さて、情報に関しては、2004年規定審議会の結果を受けて、

地区内クラブに有用な情報提供をすること、ICに関してはインターネットを介して流通するロータリー関係の情報伝達と、情報交換の手段であるインターネット活用の地区内普及に努めることを方針に掲げ、具体的な活動計画を次のように設定しました。

活動計画

1. 情報に関して

2004年規定審議会における改訂項目の提示および解説、クラブ定款・細則見直しのための資料および情報を提供する。

2. ICに関して

(1) メールマガジンの配信

RI、RJW(ロータリー・ジャパン・ウェブ)、ロータリーの友 などからインターネットを介して流通する情報および地区内の情報を、速やかにガバナーはじめ地区内のみなさんに電子メールで配信する。

(2) 地区ホームページの作成

地区から発信する情報および地区内のグループ、クラブからいただいた情報を分かりやすく掲載する。

(3) インターネット活用の普及促進

経済性、迅速性、便利性などに優れた情報交換の手段としてのインターネットの理解と普及に努める。

実務的には、特にロータリー情報の解釈など奥深い内容に関しては、遠藤秀雄ガバナー及び当委員会のカウンセラー塚原樹ガバナーエレクトのご指導をいただきながら進めてまいります。

また、インターネットについては、その経済性、迅速性、便利性などは活用していただいている方を中心に理解者が増えてきています。ぜひRI、RJW、地区ホームページなどの閲覧、またメールマガジンを受信されることで、皆さんの課題、疑問に答える情報を見つけてください。

ホームページ

2510地区：<http://www.ri2510.gr.jp/>

RI：<http://www.rotary.org/>

RJW：<http://www.rotary.or.jp/>

全国ロータリアンインターネット協議会：<http://www.jric.gr.jp/>
(国内のロータリアンが主にメーリングリストで情報交換をする任意団体)

Eメールアドレス

遠藤秀雄ガバナー事務所：keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

地区情報・IC委員会(山田)：kye00213@nifty.ne.jp



『友』誌を身近に

ロータリーの友委員会
委員長 木下 博
(室 蘭)

委員 佐藤 公(札幌北) 斎藤 元護(札幌南)
坂井 治(千歳セントラル)

一昨年、『ロータリーの友』は創刊50周年を前に刷新され、大変読みやすくなりました。2004 - 2005年度はロータリー100周年にちなんでの年間テーマ、新企画などの編集方針が発表されております。より身近なものとして、お読みいただきたい。

1. 2510地区は雑誌委員会からロータリーの友委員会へと名称を変更しました。各クラブでも名称の変更をご検討いただきたい。
2. RIの公式雑誌である面と会員相互の交流と情報交換を目的とする面を持つ『友』について、その存在意識、内容、編集方針などに対する批評、意見を広くお聞きしたい。そのため友(雑誌)委員長、関連委員会との合同会議の開催をはかりたい。収集し得た意見は中央の委員会、会議などで報告、発表する。また、会員の『友』への投稿もお願いしたい。
3. 雑誌月間を中心に、委員はクラブ卓話に出向き、『友』に関する情報、『友』の刊行物など紹介する。
4. 100周年にちなんだ各クラブの取り組み、イベントなど、この地区のユニークな情報を紹介する。
5. 「地区のたより」を年1回編集、「わがまち わが地区」の原稿を年1回書く。

ロータリー 文庫通信 (202号)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時 ~ 午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーに関するいろいろ

- 「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」 デイビッド C. フォワード著；日本語訳監修 菅野多利雄 2003 331p
[申込先：R.I.日本事務局 TEL(03)3903-3194]
- 「選ばれたる人」 佐藤千壽 2003 37p
[申込先：呉R.C. FAX(0823)21-5692]
- 「RIの方針とプログラム等について考える」 2004 8p
(第32回ロータリー・ゾーン研究会報告書 オープン・フォーラム)
- 「変えたいロータリー」 2004 13p
(D.2690地区大会 ガバナー補佐座談会)
- 「ロータリーの魅力」 深川純一 2004 12p
(D.2690地区大会 講演)
- 「夢をかたちに...行動するロータリー」 2004 16p
(D.2730地区大会 シンポジウム)
- 「21世紀の人間のニーズを満たすものとは」 今井鎮雄
2004 4p (D.2580地区大会 RI会長代理挨拶)
- 「あなたへのロータリーからの贈り物」 開場慶博
2004 6p (D.2500地区大会 特別講演)
- 「ロータリー財団の最新情報」 片岡暎子 2004 7p
(D.2500地区大会 講演)
- 「ロータリーとボランティア」 相原次男 2004 19p
(D.2710地区大会 基調講演)
[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

地区委員会

活動報告

提唱ロータリークラブ委員長会議 ローターアクト会長幹事会開催

ローターアクト委員会
委員長 柳 孝一（札幌幌南）

日 時 7月10日（土）

場 所 札幌テレビ塔会議室

地区委員会（14時～15時）

出席者 地区担当幹事 上田 博子（登別）
委員長 柳 孝一（札幌幌南）
委員 今井 義憲（函館東）、宇戸 啓
隆（赤平）、五十嵐桂一（千歳）、
鎌田 慎司（札幌北）、武井 優
（岩内）

上田地区幹事に出席頂き、遠藤年度初めの地区委員会が地区委員全員出席して、今年度の委員会の運営方針、年間スケジュール、予算等の議題、主にはローターアクターの会員増強をテーマに時間を費やしました。インターアクト、青少年交換等新世代委員会、横のつながりを密に、さらには地区内ロータリアンにローターアクトを認知してもらう重要性、公式な案内文等はガバナーと委員会の連名で対応することなどを確認し、委員会を終了しました。

提唱ロータリークラブ委員長会議（15時～16時30分）

上記出席者に加え 赤平RC佐々木重昭、岩見沢RC北市宗三、札幌北RC八木政明、札幌幌南RC佐藤泰寛、岩内RC武井 優（地区委員兼務）、千歳RC

五十嵐桂一（地区委員兼務）、恵庭RC山田邦昭、室蘭北RC斉藤 崇、函館RC石塚龍弥

敬称略

年度初めの提唱クラブの委員長さんが一堂に会し、忌憚のない意見交換の場として、毎年開催しています。自己紹介後、今年度の活動状況や今年度の予定の報告のあと、会員増強について時間をかけ話し合いをしました。

クラブ内外のロータリアンに協力を求める。提唱クラブ以外のクラブに募集する。インターアクトやROTEXへの訴求、等の具体案から、30才卒業の手続要覧はどうにかならないものかという事柄までの意見に対しそれぞれ確認をしました。

参加者から「ローターアクトに必要なことは？」

地区委員会として「ロータリー100周年の記念事業にローターアクトクラブを作りませんか」という今年度の活動計画の説明をいたしました。これは地区協議会でも提案しましたが、RIが36年前から行っているプログラムではありますが、地区内で10年以上新しいクラブは誕生していません。それどころか休止するクラブは増えているくらいです。ローターアクトクラブの提唱には15名前後の18才から30才までの青年男女会員と、わずかな資金で設立する事が出来ることを説明、さらに今後地区内で提案していく旨を話しました。

その後行われた、ローターアクトクラブ会長幹事会にオブザーバー参加。最初の会長幹事会ということもあり、斉藤地区代表から、今年の地区ターゲット「Boys and girls, be ambitious」の説明あり、役員紹介、クラブ紹介等があり、その後議案の各クラブ会員





状況、クラブテーマ、活動抱負の発言、地区代表から地区運営方針の発表がありました。

最後に地区代表提案で「アクトクラブに入ってよかったこと」「アクトクラブに入って成長したこと」の2つのテーマで考える勉強会が行われ、参加アクトから「アクトクラブに入って、いろいろな人と友達になれた」「ボランティア活動に参加できた」「行事の計画から、実行まで普段の日常では出来ないことが出来た」「自分の意見をちゃんと発言できるようになった」等の発言がありました。ロータリークラブという言葉がなかなか出てこなかったのが心配でしたが、直前地区代表から「ロータリークラブの活動を知ったこと、ロータリアンの方々を知ったこと」という発言にほっとしました。

ローターアクト今後の地区レベルの行事

7月31日、8月1日 地区キャンプ 岩内

8月28日、29日 地区セミナー 留萌

お近くのロータリアンで参加希望の方は、地区委員会までお問い合わせ下さい。

2004-2005年度RI2510地区ローターアクト
地区ターゲット 「Boys and girls, be ambitious」

RI 2510 地区ローターアクト地区代表 齋藤 心

アメリカの教育者、クラーク博士が札幌農学校初代教頭として来日していた時に残して行った「Boys, be ambitious」の言葉をもとに現代風書き換えて作り

ました。この伝統ある言葉を使うことで、今まで築き上げてきたローターアクトの歴史を大切に北海道の地から大きく羽ばたいていこう、そして同じく彼の出身国アメリカの地で創設されたロータリークラブが今年度100周年記念を迎えるにあたってその誕生の原点を見つめなおそうとの意味がこめられています。またこの言葉を叫んだといわれる恵庭・島松沢（千歳）での地区大会開催地とのつながりも含まれています。

好意と友情、喜びと感動につつまれた 米山学友・家族懇親会登別で開催

米山学友委員会

委員長 見延庄三郎（小樽南）

米山学友・家族懇親会は、学友会の年間活動計画の中でも、会員のみんなが一番楽しみにしている最大イベントである。

昨年は5月に学友委員（ロータリアン）のお膳立てで、学友ロータリアン総勢43名の参加のもと、小樽で野外バーベキュー・パーティを行った。

今年は6月5～6日（土・日）登別グランドホテルを会場とし、一泊で落ち着いて行った。しかも室蘭在住の二人の米山学友が、計画から事前準備・当日の司会進行を含むすべてを取り仕切ってくれたこと、そして彼等二人を室蘭東RCを始め地区第9グループの全ロータリークラブが相談ごとから経済的支援迄、実に親身に支援して下さいました。いわば第9グループ挙げての交流会であった。

イベントの立役者はンケアン君（マレーシア出身）とギリラム君（ネパール出身）のお二人で、全参加者は学友18名その家族7名、ロータリアン30名（うち地元ロータリアン22名）の構成であった。

6月5日17時半から「第1部顔合わせ会」を開始。陳学友会長、伊藤米山奨学会常任理事、第9グループ宮武ガバナー補佐の御挨拶の後、室蘭東RCの松田会員より学友との出会いと学友による祖国への教育支援



活動の紹介等、心に響く卓話があった。その後参加者55名全員の自己紹介でなごやかながら内容の濃い交流を行った。

次いで19時頃から「第2部懇親食事会」。遠藤ガバナーエレクトの御挨拶後竹原米山奨学委員長の乾杯の音頭で開演。登別グランドホテル木村社長の御好意で特別サービスメニューでの会食、ンケアン君やギリラム君による民族舞踊や歌の披露等があり、楽しい食事会もあつと云う間にタイムアップ。

引続き「第3部二次会」。二人の司会と地元ロータリアンの差入れ物資により深夜に及ぶゲームやカラオケ。朝5時迄の学友も居たとか。翌6日札幌へ帰る学友とロータリアンを乗せたバスの発車10時には遠藤GE始め地元学友・ロータリアン多数が見送って下さり、思い出多い登別を後にした。

私の感想 米山記念奨学事業は単なる奨学金の支給事業にとどまらず、究極の目的はロータリアンの理想とする国際理解と親善交流を深め国籍を超えて真のパートナーとなることを目指しているものと思う。

そうした意味で松田会員のスピーチを始め学友やロータリアンの言動から多くの感動や思い出を心に刻む事が出来たことは最高の成果であったと思うし、今回の家族懇親会を今後の学友活動の新たな出発としてほ

しいものと思う。

学友と家族の皆さんが本当に楽しかったと満足し喜んでくれたのは何よりであった。これも地元学友とロータリアンの皆さんのお蔭と心から感謝に耐えない。

米山梅吉氏の伝記を読んで感動しまだ学生の身にもかかわらず、祖国への教育支援活動を続けているギリラム君の真摯な努力に感銘を深めたと同時に、この支援活動の輪をもっと広めるよう我々もバックアップをしていきたいと思う。

来年以降の家族会も開催地を替え、その地区の学友とロータリーのグループの支援で今年のように開催出来れば、学友と支援ロータリアンの裾野を広げる意味でも素晴らしいと思う。

ガバナー事務所からのお知らせ

ガバナー月信の「ファイル」をお送り致します。R Iテーマの色調をベースとしたブルーを配置し、100年の虹色（希望）を入れました。ご活用下さい。

今年度のガバナー月信の表紙は、1号から13号まで基本デザインは変わりませんがレインボーカラー（虹色）の赤系から橙色、黄、緑、紫、青のグラデーションで発行予定ですので、13号までをファイリングして頂き、再度必要時にお読み下さい。なお、裏表紙は今日的话题の項目を掲載します。

2004年4月17日開催しました、地区協議会報告書をCD盤にて今月配信します。

協議記録や資料など豊富な情報が網羅されていますので、各クラブの活動にご利用下さい。

(財)ロータリー米山記念奨学会 2004年7月12日発行

ハイライトよねやま 53

1. 寄付金速報～2003-2004年度寄付結果報告、ご協力感謝いたします！

2003-2004年度の寄付金は約15億2百万円、前年度と比べ5.9%減、約9千5百万円の減少となりました。普通寄付金が3.3%減、特別寄付金が7.0%減です。16億円の目標は達成できませんでしたが、会員数減少の中、寄付増進にご尽力賜りましてありがとうございました。第2590地区【神奈川県横浜市・川崎市】が一人当たり平均寄付額のトップ(25,772円)を維持しました。今年度も引き続き、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2. 理事会・評議員会報告～奨学金額と採用数の縮減が決定～

新年度の事業計画と予算を決める2003年度第3回理事会・評議員会が、6月23日に東京・新高輪プリンスホテルで開催されました。全地区から102名の理事・監事・評議員が出席して、2004年度の事業計画、収支予算および奨学生募集人員と募集要項などを審議決定しました。

<主な決議事項>

1. 奨学金額と奨学生採用数の見直し

寄付金収入の減少を受け、2005学年度の奨学金額と採用数は、右の表の通り、それぞれ縮減されます。

2. 地区および学友会補助費の改定

2005年7月より、地区活動補助費は、奨学生人数によるスライド式に改定されます。学友会運営補助費・設立準備金は、2004年7月より廃止されます。

3. 予算

寄付金収入予算は15億1千万円、奨学金支出予算は15億8千万円です。奨学資金特別積立金の取り崩しは3億円で、これを執行すると、特別積立金は25億5千万円となります。

2005学年度(4月～3月)の米山奨学金制度

	種別	月額	採用数
米山奨学金	学部(YU)	10万円	741名
	修士(YM)	14万円	
	博士(YD)	14万円	
クラブ米山(CY)奨学生		14万円	59名
特別米山(SY)奨学金	SY-A	18万円	
	SY-S	18万円	
	SY-1	10万円	
合計			800名

2003年度の寄付総額が16億円を下回ったことにより、奨学金額と採用数を縮減する厳しい会合となりました。慎重な審議を重ねた結果、奨学金額を平均7%、採用数を20%減とする案が採択されました。98年以来、1,000名を超える奨学生を支援してきたロータリー米山奨学金ですが、この数年ロータリー会員の退会、寄付金減少に歯止めがかからず、ついに大幅な削減を余儀なくされました。原因は、単に経済的なものだけではありません。ロータリーの「奉仕」とは何か、奨学事業の「使命」とは何か、そして「なぜ今、留学生支援なのか」といった事業の本質が見えにくくなっている現状への批判も大きいと思われる。

理事会・評議員会後に開かれたフォーラムでは、米山奨学事業を見直すために昨年実施した「第2期基礎調査報告」をたたき台として、「みんなで考えよう...私たちの米山奨学事業」の議論を行いました。財政危機の現実を直視しながらも、決して後ろ向きにならずに、日本のロータリアンが築き上げてきた奨学事業を前進させようとする意気込みを感じさせられたフォーラムでした。なお、このフォーラムは、2006年度制度改編に向けてシリーズで開かれます。

(常務理事・事務局長宮崎幸雄)

3. フォーラム開催報告

理事会・評議員会合同会議の終了後、1時間半にわたるフォーラムが開催されました。高野副理事長、宮崎事務局長による基礎調査結果のプレゼンテーションの後、グループディスカッションが行われ、参加した理事・評議員から活発な意見が交わされました。

寄付については、「会長や幹事に対し、重点的に理解の浸透をはかる」「普通寄付を増額し、財源の安定化を」といった提案が多く寄せられ、関心の高さが伺われました。

表彰制度の改定については、寄付増進に有効であるとしながらも、「10万円が目標ではなく、2回3回と続けてもらえるような動機づけが必要」との意見がありました。

「日本に来ている学生だけでなく、アジアの大学に日本語学科をつくり、招致するような全面的支援をしたい」など、今後の奨学事業の可能性に関することや、当日決議された奨学生数縮減と奨学金減額に関する意見、交流のあり方などが議論されました。今回のフォーラムの詳細は、後日、増刊号としてまとめる予定です。ご期待ください。



4. 指定校選定の期限、迫る！

2005学年度の指定校決定報告が、各地区から続々と届いています。今年、各地区にお送りした『大学情報』では、4月に独立法人化した国立大学の動きや、国際競争力のある研究拠点をつくるために文部科学省が始めた21世紀COE (Center of Excellence) プログラム、特色ある大学教育支援プログラムなど、大学を取り巻く環境についての情報も紹介しています。

昨年の「第2期米山奨学事業基礎調査」では、過半数のロータリアンが現行の指定校・大学推薦制度を支持しながらも、4人に1人が改善の必要ありと答えており、その改善要望のトップが「地域密着型大学や特徴のある大学を指定校に」でした。これは、現行制度の中でも地区の裁量で実現できるアイデアです。ぜひ、さまざまな情報を参考に、今年の指定校をお選びください。

指定校報告の締め切りは、7月14日(水)です。

5. 米山学友の活躍～外務省の「ASEAN 留学生の意識調査」を手がけた林保順さん～

マレーシア出身の米山学友、林保順さん【1991-93 / 千葉大学 / 千葉西RC】は、(株)三菱総合研究所の研究者として、ビジネスの第一線で活躍中です。

林さんが最近手がけたのは、外務省委託の『我が国とASEANの留学生交流のあり方に関する研究』。その研究報告を兼ねたセミナー「我が国大学の国際化と留学生誘致戦略」が、6月22日に三菱総研本社ビルで開催されました。大学、留学生団体をはじめ、外務省、文科省、厚労省など、留学生に関わる教育・行政の関係者らが多数参加した中、林さんは、ASEAN 留学生の意識調査結果とともに、優秀で意欲的な留学生をASEAN 諸国から誘致するための戦略モデルを発表しました。自らもASEAN 出身の留学生だった経験を存分に生かす報告であり、国際化する日本のビジネスシーンの中で、活躍の幅を広げる米山学友の姿を物語るものでした。

林保順さんは、8月の理事会・評議員会の昼食の席で、スピーチを行う予定です。

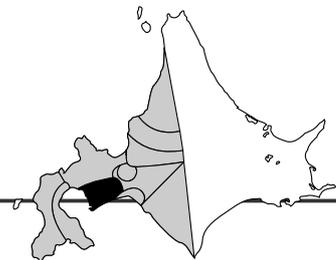


ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯・野津・大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル 8階
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

こんにちは！

第9グループです



第9グループ ガバナー補佐 鈴木久雄

道南の噴火湾から太平洋岸沿いに細長く横たわる胆振管内のうち、第9グループには、室蘭、登別、伊達の3市と洞爺湖周辺の町において室蘭、室蘭北、室蘭東、伊達、洞爺湖、登別の6グループが活動しています。このうち1935年に創立（承認1936年）された室蘭RCは道内で6番目、第2510地区内でも札幌、小樽、函館に次いで古く、歴史と伝統あるクラブであります。また、洞爺湖RCの会員は減少しているものの、ロータリーの灯を消してはならないと、10名の会員が全力で頑張って活動を続けています。

さて西胆振と呼ばれる同グループの地域は、支笏湖洞爺国立公園を有し、洞爺湖や登別などの温泉地をはじめ、身近に火山体験に触れられる有珠山、昭和新山と、全国でも名の知られた観光地であることが特色であり、自慢です。胆振全体の観光入込・宿泊客数は有珠山噴火（平成12年）の影響からほぼ回復し、道全体の1割強を占め、近年では韓国や台湾などからの外国人客が増えています。また、かつて鉄の街が代名詞だった室蘭はイルカ・クジラウォッチングと「焼き鳥」



白鳥大橋と風力発電

が有名となり、人口1万人当たりの焼き鳥専門店の店舗数が全道一として今や売り出し中です。伊達市では、北の湘南と呼ばれる温暖な気候の恩恵でキャベツや白菜の収穫量が全道一なのだそうです（平成14年度）。こちらに来られる際には、登別、洞爺の温泉で心身を癒し、東日本最大のつり橋「白鳥大橋」を利用して（通行料は無料）、その景観と自慢の焼き鳥をぜひ味わってほしいと思います。

第9グループでは各々地域に根ざした活動を展開し、学生支援のための奨学金への寄付や地元図書館への書籍の寄贈、小・中学校への出張授業や職業体験活動といった文化・教育振興をはじめ、環境美化活動に一役買った花苗プランターの整備や植樹、室蘭工業大学留学生との交流、奨学生やインターアクト会員を家庭に招くホームビジットなどで国際理解と親善にも力を入れ、地道に活動を続けています。

第9グループのモットーは明るく元気なロータリー運動の展開です。会員交流会には近隣の白老RC会員を招き、グループ内にとどまらず地区内の友情と親睦



洞爺湖中島展望

も深め、チームワークを一層強化しています。

本年度は、第9グループにとりまして、1987 - 1988年度の富田嘉市ガバナー以来になる遠藤秀雄ガバナー就任の記念すべき年度であります。遠藤秀雄ガバナー応援の象徴として、10月16・17日の地区大会は第9グループ全員登録を目指しています。そして2005年2月23日(水) グレンE・エステス・シニアRI会長の呼びかけに応え、第9グループの6クラブが一堂に会して、100周年記念祝賀会を行います。



40年間継続しているイタンキ浜の清掃奉仕

函館ロータリークラブ 創立70周年記念式典・祝賀会開催のご案内

『函館ロータリークラブ』は昭和9年10月25日、小樽ロータリークラブをスポンサークラブとして誕生いたしました。今年70周年を迎える事となりました。

これも偏に皆様方のご指導とご支援の賜と心よりお礼申し上げます。

つきましては、右記日程にて記念式典と祝賀会を開催する事となりましたのでお知らせ申し上げます。

記
日 時 平成16年10月25日(月)
場 所 函館国際ホテル 函館市大手町5-10
TEL 0138-23-5151
記念式典 17時~18時
祝 賀 会 18時~20時
登 録 料 会員12,000円 家族10,000円

函館ロータリークラブ 会長 渡邊 兼一
創立70周年記念行事 実行委員長 小原 幸男

2005年 RI 会長主催祝賀会議へのご案内

日本のロータリアンのみなさん
グレン・エステス会長とともに100周年を祝いましょう

実行委員長：RI理事 田中作次
副実行委員長：RI理事 南園義一

と き：2005年4月30日(土) 9:00~10:00 登録
ところ：新高輪プリンスホテル 国際館バミール
登録料：10,000円(昼食、休憩時のコーヒー代含む)
参加者：すべてのロータリアン(1,500名予定)

この祝賀会議はロータリーの100周年を記念して、2004~2005年度内に世界の8カ国で開催されるRI会長主催の会議です。エステスRI会長とともに100周年を

祝い、そしてロータリーの夢を語り合い、その夢の具現化に向けて討議し、それによってロータリーの2世紀の進むべき道を見いだしていただくことを目的としています。そのために実行委員会では次の5つのワークショップを用意しています。

ワークショップ1：職業倫理	
ワークショップ2：公共的イメージの高揚	10年後の夢
ワークショップ3：ロータリーの基本の理解	10年後の夢
ワークショップ4：会員の退会防止と増強	10年後の夢
ワークショップ5：魅力あるクラブづくり	10年後の夢

詳細問合せ先(実行委員会事務局 担当：川部)
電話(048)997-7621 FAX(048)995-9756

受入留学生

『ホスト・ファミリー』サポーターRC募集

青少年交換委員会

委員長 野 澤 幸 平
(岩 内)

青少年交換事業担当者の皆様方には留学生交換プログラムにご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。今年度派遣募集は長期約8名、短期約3名を予定しております。

交換プログラム、受入留学生は1年間滞在の間に4家族(1家族約3ヶ月)にホームステイをします。その間、受入家族の急な都合、また家族だけの計画等もあるかと思えます。

その様な時、ホストRCさんよりご依頼がありましたら「サポーターRC」さんにご紹介、ご協力を頂く募集案内です。ホスト・ファミリーさん、ホストRCさんへの支援プログラムです。

是非、担当委員会にてご協議、貴クラブ会員さんにお声掛けを。そして受入の準備をして頂きたくお願い申し上げます。この「サポーター」プログラムにご協力、ご賛同得られるRCさんは地区委員会にご連絡頂ければ幸いです。締め切りはございません。いつでもお受け致します。

この様な機会を通し「サポーターRC」さんが交換プログラムに触れて頂ける事、知って頂ける事は当委員会事業にとって今後大きな支えともなります。

サポーターRCプログラム内容

週末ホスト・ファミリー

ホスト・ファミリーさんに休暇応援

留学生「夏休み&冬休み」間の1週間程度のホスト・ファミリー

いつでも1週間程度ホスト・ファミリー

* 留学生、学業ある場合は通学距離が条件となります。

受入される場合、担当委員さんは前もって「ホスト・ファミリー、ホストクラブ」手引書(地区協議会:新世代委員会グループにて全RCさんに配布)を必ずお読み下さい。

初めての支援事業プログラムです。皆さん方のご意見、ご要望等お聞かせ下さい。

【お問い合わせ】・Tel: 0135-61-4728 ・Fax: 0135-61-4832

掲 示 板

例会場及び事務所の移転

静内RC(7月1日より)

056-0018 静内郡静内町吉野町3丁目1-1

静内ウエリントンホテル

会場電話 01464-3-3811

事務所電話 01464-3-2481

同FAX 01464-3-2495

例会時間 毎週水曜日 午後12時30分より

札幌大通公園RC(8月9日(月)より例会場変更)

新会場 大通藤井ビル(旧エスコビル)3階

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4

(地下鉄東西線西11丁目駅直結)

公式訪問・例会場・例会時間の変更について

8月19日(木)美唄RC、岩見沢RC、岩見沢東RC

例会時間 12:30 12:15に変更

9月21日(火)伊達RC・洞爺湖RC

会場:伊達ローヤル 洞爺湖万世閣

会長幹事会:11:00~洞爺湖RC、11:45~伊達RC

例会の変更について

岩見沢東RC

8月10日(火)休会(8月6日(金)岩見沢RCとの合同納涼夜間例会に振替)

8月24日(火)休会(8月19日(木)ガバナー公式訪問合同例会に振替)

小樽RC

8月3日(火)例会時間変更 17:45~

苫小牧北RC

8月10日(火)移動例会 12:30~ 場所:勇払マリナー見学

8月17日(火)休会

室蘭東RC

8月11日(水)休会

8月18日(水)夜間例会「納涼ピヤパーティー」18:30~

苫小牧東RC

8月12日(木)夜間移動例会「ビールパーティー」18:00~

場所:苫小牧ビール園

(苫小牧市表町2-2-22 電話0144-34-5220)

苫小牧RC

8月13日(金)休会

8月20日(金)夜間例会「会員・家族の夕べ」18:00~

江別RC

8月12日(木)休会

8月26日(木) 8月24日(火)12:30~ 場所:江別市民会館

市民会館

ガバナー公式訪問合同例会(当別・

江別西RCとの3クラブ合同)に変更

*定款第5条第1節による休会

7月号について ご訂正願います。

p13 ガバナー補佐連絡先一覧表 第4グループ・小山秀昭ガバナー補佐自宅E-mailアドレス

正) h_koyama@nifty.com

p17 組織図 社会奉仕委員会・菅原剛太郎委員「副委員長」

(印を付記下さい)

p18 クラブ一覧表 札幌手稲RC・FAX番号

正) 011-231-6724

「虹と雪のバラード」の 詩碑が建ちます

R I 第2510地区ガバナー 遠藤 秀雄
札幌西ロータリークラブ会長 矢橋 温郎

虹の地平を歩み出て
影たちが近づく手を取りあって
街ができる 美しい街が
あふれる旗、叫びそして歌
ぼくらは呼ぶ あふれる夢に
あの星たちの間に
眠っている 北の空に
君の名を呼ぶ オリンピックと

この名曲の作詞者が、故河邨文一郎パスト・ガバナーであることは余りにも有名であります。32年前に開催された札幌冬季オリンピックのテーマ曲でありましたが、今でも世代を越えて親しまれております。この曲を聴きながら目を閉じると、当時のさまざまな競技が思い浮かべられますが、三本の日の丸の旗が立った大倉山シャンツェに詩碑が建つことになりました。

道民から広く建立費を募金することになりました。故河邨文一郎氏は、札幌西ロータリークラブの会員でありましたし、1984～1985年度第2510地区ガバナーをお務めになりました。御専門分野とはいえ、ポリオ・プラスには殊の外情熱を傾け努力された方でもありました。河邨パスト・ガバナーの多方面に亘る御活躍と御遺徳を偲び、詩碑建立の趣旨に御賛同いただける会員の御協力が得られれば幸いに存じます。

尚、リーフレットおよび振込用紙は各クラブ宛に別途お送り致します。

ポリオ撲滅 キャンペーン・ ポロシャツのご案内

大阪国際大会でポリオのポロシャツが販売されていたのをご存知でしょうか。

ロータリー財団で作製したポリオ撲滅キャンペーンの半袖ポロシャツ（前面：R Iのロゴとマザーテレサがワクチン投与している写真、背面：Polio Plusのロゴ、色：黄・紺の2種、サイズ：アメリカサイズのM・Lの2種）が日本事務局に届いています。

クラブの屋外活動時などに着用されればロータリーの広報にも役立つものと思われます。数に限りがありますので販売は先着順、一地区50枚までとなっています（1着20ドル）。ご希望のクラブは、ガバナー事務所までご連絡をお願いいたします。

尚、支払われた金額は財団寄付となります。

寄付の振込口座について

特別活動法人 ロータリー日本財団が7月1日よりスタートし、寄付の口座が煩雑になりました。送金の際には下表を参考にし、お間違えのないようご注意ください。

種別	金額	ロータリー	法人	クラブ	地区
年次寄付と 恒久基金寄付	30万円以上	■	■	■	■
	10万円以上 30万円未満	■	■	■	■
	10万円未満	■	■	■	■
ポリオ・プラス	10万円以上	■	■	■	■
	10万円未満	■	■	■	■
ポリオ・プラス以外の 用途指定寄付 (マッチング・グラント)	金額にかかわらず	■	■	■	■

横線 免税（30万円以上の教育的分野への寄付、恒久基金と年次プログラム基金の区別は問わない）の振込先

三井住友銀行 本店営業部 普通預金 8719834

名義 国際ロータリー日本事務局

日本ロータリー奨学委員会 所長 大島四郎

格子 10万円から30万円未満

東京三菱銀行 赤羽支店 普通預金 1568210

特定非営利活動法人ロータリー日本財団理事 岩井敏

斜線 10万円未満とクラブ寄付と地区寄付

東京三菱銀行 本店 普通預金 1528228

国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎

三井住友銀行 本店営業部 普通預金 0968049

国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎

8月・9月

地区カレンダー

8 月 会員増強および拡大月間		9 月 新世代のための月間	
1 (日)		1 (水)	
2 (月)	インターアクト海外研修 (韓国ソウル市) ~ 6日	2 (木)	
3 (火)	公式訪問/深川・妹背牛RC (12:30,深川ブラザホテル板倉)	3 (金)	地区親睦野球大会・前夜祭
4 (水)	公式訪問/札幌RC (12:30,札幌グランドホテル)	4 (土)	地区親睦野球大会 (滝川)
5 (木)	公式訪問/羽幌・小平・留萌RC (12:15,羽幌サンセットブラザホテル) 公式訪問/滝川・砂川RC (18:30,滝川ホテルスエヒロ)	5 (日)	
		6 (月)	
6 (金)		7 (火)	公式訪問/栗山・栗沢RC (12:30,栗山パラダイスヒルズホテル)
7 (土)	第1・2・3グループロータリーの社会奉仕に関する意見交換会 (14:00~17:00,滝川ホテルスエヒロ)	8 (水)	
8 (日)	ロータリー財団地域セミナー (東京)	9 (木)	北広島RC創立25周年記念式典・ゴルフ大会 (北広島プリンスホテル)
9 (月)		10 (金)	
10 (火)	公式訪問/赤平・芦別RC (18:00,赤平交流センター未来)	11 (土)	トライセミナー・シニアクラス (札幌・JR研修センター)
11 (水)		12 (日)	
12 (木)		13 (月)	
13 (金)		14 (火)	公式訪問/函館東・函館五稜郭・函館北RC (12:30,函館国際ホテル) 公式訪問/上磯・江差・松前RC (18:30,同上)
14 (土)			
15 (日)		15 (水)	公式訪問/函館・函館亀田RC (12:30,函館・ホテルオーランド) 公式訪問/七飯・森・長万部RC (18:30,大沼プリンスホテル)
16 (月)			
17 (火)	第2800地区インターアクトクラブとの交流会 (札幌)	16 (木)	
18 (水)		17 (金)	
19 (木)	公式訪問/美唄・岩見沢・岩見沢東RC (12:15,美唄ホテルスエヒロ)	18 (土)	トライセミナー・ジュニアクラス (札幌・NTTセミナーセンター)
20 (金)	地区大会登録締切日	19 (日)	
21 (土)	第4・5・6グループロータリーの社会奉仕に関する意見交換会 (14:00~16:30,札幌IAY) 地区会員増強委員長会議 (13:00~17:00,札幌・北海道医師会館)	20 (月)	敬老の日
		21 (火)	公式訪問/伊達・洞爺湖RC (12:30,洞爺湖・ホテル万世閣)
22 (日)		22 (水)	
23 (月)	公式訪問/札幌南RC (12:30,札幌パークホテル)	23 (木)	秋分の日
24 (火)	公式訪問/江別・江別西・当別RC (12:30,江別市民会館)	24 (金)	
25 (水)		25 (土)	
26 (木)		26 (日)	
27 (金)		27 (月)	
28 (土)		28 (火)	公式訪問/浦河・えりも・様似RC (12:30,浦河ウエリントンホテル)
29 (日)		29 (水)	公式訪問/静内・三石RC (12:30,静内ウエリントンホテル)
30 (月)	第1回米山評議員会 (東京)	30 (木)	
31 (火)			

ロータリーウェブサイトの案内

何といても、ホームページの目玉は、ロータリーに関する資料・情報を得ることが出来ます。インターネットなら、時間を気にしなくても、いつでも都合のいい時間に情報を探すことができます。下記ホームページとメールアドレスを参考に是非一度アクセスしてみてください。



国際ロータリー・地区委員

- ROTARY INTERNATIONALホームページ <http://www.rotary.org>
- ROTARY JAPAN WEBリンク集 <http://www.rotary.or.jp/link.html>
- Jonathan B. Majiyabe 2003-04RI会長 <http://www.rotary.org/president/estess/index.html>
- 100周年記念ウェブサイト (日本語版) <http://www.rotary.org/languages/japanese/centennial/index.html>
- ROTARY JAPAN WEB(RJW) <http://www.rotary.or.jp/index.php3>
- ポリオ (日本語版) <http://www.rotary.org/languages/japanese/index.html>
- 第2500地区 (北海道東部) <http://www.rotary2500.net/>
- ガバナー事務所のメール keiai.hp.rc@tritron.ocn.ne.jp
- GSE委員会 <http://www.ri2510.gr.jp/GSE/framepage.html>
- 文献資料室 <http://www.ri2510.gr.jp/bunken/>
- IC委員会 <http://homepage2.nifty.com/north5/mmindex.html>
- ローターアクト委員会 <http://www.ktw.co.jp/rac/>
- クラブ奉仕委員会 <http://www.ri2510.gr.jp/club/>
- 第2510地区 (北海道西部) <http://www.ri2510.gr.jp>

地区内クラブ

- 倶知安RC <http://www.hirafu.com/rotary/>
- 札幌幌南RC <http://www.ktw.co.jp/2510-KONAN-RC/>
- 函館東RC <http://www.hakodate-east.org/>
- 室蘭東RC <http://business3.plala.or.jp/m-east/>
- 上磯RC <http://kamiiso-rc.m78.com/>
- 室蘭北RC <http://www4.ocn.ne.jp/~mur-n.rc/>
- 余市RC <http://www5.ocn.ne.jp/~yoichi-r/>
- 函館RC <http://www.hakodate-rc.com/>
- 滝川RC <http://www.rotary.gr.jp/>
- 札幌大通公園RC <http://www.rotary21.com/>
- 砂川RC <http://www.sunagawa-rc.jp/>
- 松前RC <http://www.webport.ne.jp/rotary2510/11g/matumae/>
- 美唄RC <http://homepage1.nifty.com/bibai2501/>
- 札幌モーニングRC (私設) <http://www.kitala.ne.jp/smrc/>
- 函館北RC <http://www.hakodate-north.org/>
- 当別RC <http://www.rc-toubetsu.jp/>
- 苫小牧北RC <http://www2.ocn.ne.jp/~ntoma/>
- 千歳セントラルRC <http://www.h5.dion.ne.jp/~ccrc/top.htm>
- 深川RC <http://www11.plala.or.jp/fuka-rc/>
- 千歳RC <http://www.phoenix-c.or.jp/~c-rotary/>
- 函館五稜郭RC <http://www.goryokaku.org/>
- 函館亀田RC <http://www2.hbf.ne.jp/rotary/>
- 江差RC <http://www.webport.ne.jp/rotary2510/11g/esashi/>
- ロータリー用語便覧2002 <http://www.asahi-net.or.jp/~ej7y-skb/>
- ガバナー会 青少年交換委員会 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
- ロータリー友 <http://www.rotary-no-tomo.jp/>
- 米山記念奨学会 <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>





2004
2005



国際ロータリー第2510地区

地区大会

ホストクラブ 登別ロータリークラブ



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER